

子どもの安全を地域で守ろう！～PTA地域教育懇談会～

7月10日（水） 参加者：保護者16名、地域の方13名、学校職員13名 合計42名

【全体会】

- (1) 情報提供「スマホによるトラブル」（佐渡東警察署 生活安全課 伊徳 まどか 様）
- 無線LANの普及により、スマホ以外でもゲーム機等で手軽にインターネットが利用できる。親の知らないところでトラブル（いじめ・課金サイト・なりすまし等）になることがある。
 - 自撮り画像の流出被害が増加している。一度画像が流れてしまうと完全に削除することは困難であり、それが友達を失くす、思うように就職できないなど広い範囲で影響が残ってしまう。
- 対応策
- ① 子どもとのルール作り：何時～何時までは携帯（ゲーム機）を親に預ける など
 - ② ある程度の監視体制の確立：アプリのダウンロードは親の許可が必要な設定にする など
 - ③ 何でも相談できる環境作り：親と子が同じアプリやゲームを利用する
→アプリの内情や危険性を把握できる、親子のコミュニケーションツールの一環になる
 - ④ フィルタリングの徹底：無線LAN、携帯電話回線、アプリの3つすべてにかける必要がある
- (2) 不審電話への対応 ※困ったことがあったらとにかく警察に相談を！
- ① 知らない人からの電話は「親がいないので切ります」と言って切らせる
 - ② 子どもだけの場合は留守番電話にしておく、知らない電話にはとにかく出ない

【地区別の情報交換】

<湊・原黒・吾湯地区>

(1) 子どもの安全を地域で守ろう

- ・新しい道路が開通すると交通量が増える。おんでこドームで遊ぶ子どもたちは注意が必要となる。
 - ・低学年が一人で自転車に乗っておんでこドームに遊びに来ており、横断歩道がなくても道路を横切るため心配である。
 - ・学校の下校指導の時に、子どもたちと危ない場所を確認するとよいのではないか。
- <危険箇所>消防署裏の加茂湖の船上げ場、おんでこドーム周辺の道路、おんでこドームへ下る湊3・4の間と湊2・3の道



(2) 地域や家庭での子どもたちの様子

- ・両津小学校の子どもたちは、知らない子でもあいさつしてくれる。
 - ・気持ちいいくらい一列で整列し、列を乱さず登校している班がある。
 - ・地域の大人からあいさつする、声を掛けることで、子どもたちとの信頼関係が築けるのではないかと。
- ※懇談会の中で話題に出た若宮通りの信号機の一部撤去について、学校の方で佐渡東警察署の交通課に問い合わせました。今年度、来年度中に撤去の予定はないが、今後も住民の皆さんに丁寧に説明していきたいとのことでしたので、お伝えします。

<夷・福浦・春日地区>

(1) 子どもの安全を地域で守ろう

- ・南部地区で地域の人の声掛けでつきまといを防犯できた事例がある。子どもの見守りや子どもが一人でも安全に帰れる地域の仕組みがあればありがたい。
- 何時頃子どもが下校するか情報があれば協力したい。商店街の有線放送を活用できないか。
- ・福浦の抜け道は、交通事故が多発している。速度標識がないので、車両もスピードを出している。点滅ではなく通常の信号を警察に要望している。



(2) 地域や家庭での子どもたちの様子

- ・自転車の乗り方を教える機会や検定など学校でできないか。
- 学校では毎年交通安全教室を開催し、3・4年生に自転車の安全な乗り方について指導している。親も我が子の自転車乗りに責任を持つ覚悟を。
- ・春日地域で行っているラジオ体操に、両津小の子が友達を誘って参加してくれるようになった。

ありがとうございました。これからも共に子どもたちを見守っていきましょう！